

資金分配団体 審査会議 議事概要

新型コロナウイルス対応緊急支援助成<随時募集>第2次

1. 日時：2021年1月26日（火）開会10:00-閉会12:00

2. 場所：東京都千代田区内幸町2丁目2番3号日比谷国際ビル314
JANPIA 事務所内 大会議室、Zoom

3. 審査委員（敬称略）

- ・ 深尾昌峰（龍谷大学政策学部教授）[委員長・議長]
- ・ 功能聡子（ARUN 合同会社代表）
- ・ 治部れんげ（ジャーナリスト）
- ・ 菅野拓（京都経済短期大学・地理学者）
- ・ 高原康次（グロービス大学院 講師）
- ・ 永沢映（NPO 法人コミュニティビジネスサポートセンター代表理事）
- ・ 山内亮太（株式会社 ESCCA 代表取締役）
- ・ 米田佐知子（子どもの未来サポートオフィス代表）
- ・ 町井則雄（株式会社シンカ 代表取締役社長）
- ・ 山内明子（生活協同組合コープみらい常務理事）

4. 議題

新型コロナウイルス対応緊急支援助成<随時募集>第2次の審査

5. 申請の状況

4 事業

6. 議事的前提

- ・ 審査会議では、公募要領に定める「選定基準」とともに、「選定配慮事項・優先選定」に留意し審査を行った。
- ・ 審査委員は審査会議に先立ち、事務局から送付された「申請書類」に基づいて手元審査を行い、審査の過程で生じた疑問については、審査委員にて分担し、各選定申請団体のヒアリングを行った。
- ・ 審査委員は手元審査・面談結果を受け、その結果を事業ごとにコメントとして整理し、審査会議に臨んだ。

7. 議事要旨

審査委員 10 名の出席により、審査委員長が議長を務め、審査を行った。議事において

は、各審査委員が事前に実施した手元審査の結果を踏まえたコメントを相互に確認しながら検討し、「JANPIA 理事会に対して、選定を推薦する事業」の選定を行った。

なお、審査委員へ選定申請団体名について事前に共有し、利益相反についての自己申告があった事業については、当該団体の審査には加わらなかった。

〈利益相反自己申告の状況〉

・ 高原康次

一公益財団法人東京コミュニティ財団のコンソーシアム団体（READYFOR 株式会社）

審査

(1) JANPIA 理事会に対し推薦する事業：以下の 1 事業

以下の事業については、推薦すべきとの意見であったが、一部の委員からの指摘事項があり、改善に向けた期待事項を付す等により、推薦することとした。

■ 公益財団法人東近江三方よし基金

- ・ 成果目標では、「場ができる」といったアウトプットの側面が大きくなっているかと思うが、コロナ緊急助成という事業の特性を考えると、当事者がどう変化していくことを目指すのかを設定して描いていただくとよいのではないかと。既採択事業がある中での採択となるため、事務局機能の強化をお願いしたい。

■ 一般社団法人 RCF

- ・ スポーツクラブの活動を活かした事業は新しい取り組みであり、資金分配団体の担い手の裾野を広げる意味でも好事例となるよう、本事業の効果的な展開を進めていただきたい。既に複数の採択事業を担っていただいております、PO の配置等の体制を整えての伴走支援等、実行団体のサポートにお取り組みいただきたい。

(2) 推薦を見送ることとなった事業：以下の 2 事業

申請のあった事業について、「選定基準」等に照らし、審査委員会としての推薦を見送ることとなった。

■ 一般財団法人泉北のまちと暮らしを考える財団

■ 公益財団法人東京コミュニティ財団

以上